



谷間の百合 11月

学校法人信栄学園 幼保連携型認定こども園 平幼稚園

「わたしの隣人とはだれですか」(ルカによる福音書 10章 29節) 園長 平澤 功

ある律法(聖書)学者がイエス様に尋ねます。「何をしたら永遠の命を受け継ぐことが出来ましょうか」。イエス様は答えます。「あなたの神である主を愛しなさい。また隣人を自分のように愛しなさい」と。するとその学者は「わたしの隣人とはだれのことでしょうか」と再質問します。そこでイエス様は次の話をします。「ある人が追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った」。その時、祭司とレビ人(双方とも神殿に仕える人)が通りかかったが、道の向こう側を歩いて行ってしまった。次に旅で通りかかったサマリア人はそばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。「この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います」と。「さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか」。質問した人は言った。「その人を助けた人です」。そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい」。

隣人になるということは知識だけで足りるものではありません。私たちは忙しい日々を過ごしています。哀しい事件や事故が毎日起こっています。しかし、それらのことに心を留める余裕がありません。マザー・テレサは「愛の反対は憎しみではなく無関心である」と現実をしっかりと見ることを求めます。困難を抱えている人に関心を持つことを求めます。戦争で悲しんでいる人々があります。今の時代に生きる者として、それぞれの仕方で困難や悲しんでいる人に寄り添いたいと思います。私は今出来る一つとして難民のために祈り、「剣を鋤に、槍を鎌に」(イザヤ書)(武器を農具に)の手造りタグを鞆につけ、隣人の気持ちを表しています。

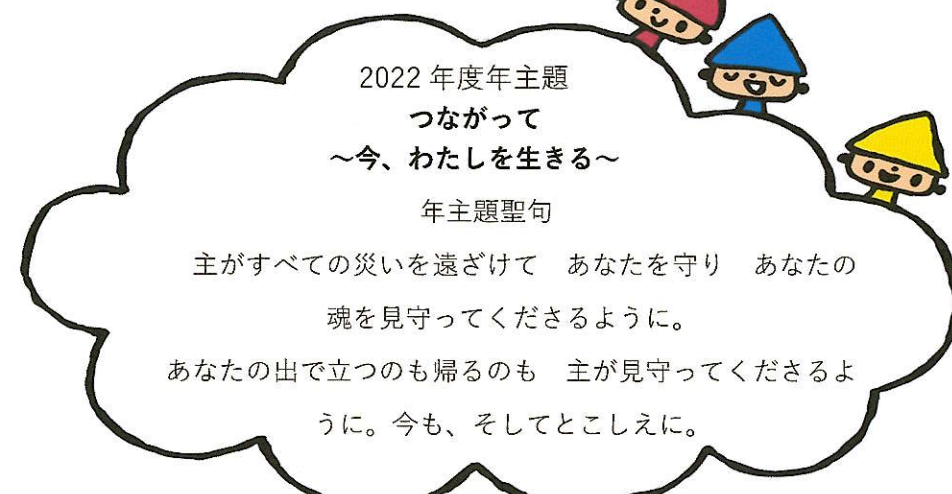
11月の行事予定

1日(火)	おやこ広場	15日(火)	おやこ広場
4日(金)	乳児親子遠足 お弁当の日	17日(木)	避難訓練⑧
8日(火)	おやこ広場	22日(火)	おやこ広場
11日(金)	誕生日祝会	25日(金)	収穫感謝祭礼拝 10:00~
14日(月)	幼児祝福礼拝	28日(火)	第一アドベント
		30日(水)	PTA例会(あい組保護者) 10:00~

わたしは愛されていると感じ 心満たされて今を生き

明日の希望を持つために

<キリスト教保育・月主題11月>



2022年度年主題

つながって

~今、わたしを生きる~

年主題聖句

主がすべての災いを遠ざけて あなたを守り あなたの
魂を見守ってくださるよう
あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるよ
うに。今も、そしてとこしえに。

乳児クラス (0歳児)
月主題 「みーつけた」

乳児クラス (1.2歳児)
月主題 「じっくりと」

幼児クラス (3.4.5歳児)
月主題 「分かち合う」



風の匂い、木の葉の色づき、雲の流れ、日ごと冷たくなっていく水、お日さまの傾きなど、生活の様々な場面で季節の移り変わりを感じる時を迎えました。四季があるって、なんて素敵なことでしょうか。どこの国にも当たり前にある事ではないですよね。また、日本の中でもそれぞれの地域によって自然の姿は多様であり、日々変化していきます。同じ秋という季節も、一日たりとも同じ日はありません。神さまの創造された自然の豊かさ、奥深さを実感します。

視覚や触覚以上に匂いをかいだり、味わったりした記憶は長く深く、その子の心の奥にしみ込んでいくと言われています。園環境も少しずつ豊かになってきました。園内にある自然に目を向けたり、園外に出掛けたり自然を愛する心を育みながら、旬の野菜や果物など保育の中でできる調理に取り組み、食べる経験を通して神さまに感謝する時も大切にしていきたいです。私達大人も、身近な自然の変化や実りを感じ喜び、感謝しましょう!!ハレルヤ

人やモノや自然の中に神様の愛と恵みがあふれていることを子ども達に伝えつつ、園全体で「ありがとう」がいっぱいの秋を過ごし、もっともおおいなる贈りもの(イエスさま)を喜ぶクリスマスの準備につなげていきたいです。

実りの秋、充実の秋、成長の秋...

“成長させて下さるのは、神である”コリント人への第一の手紙 3章 6節

高萩 恵美

